

時限表

テーマ	事業継続のための資金繰り支援
研修のねらい	当研修は中小企業からの相談の多い資金繰り相談への対応力を磨くため、資金繰りの基本的な考え方、作成方法、改善支援のポイントについて、企業活動と資金繰りの関係性や因果関係を理解した上で、ケーススタディや演習を通じて学びます。
受講対象者	資金繰り相談について対応スキルを学びたい方、資金繰りの考え方、資金繰り表を作成するポイントについて学びたい方
研修期間	令和6年10月29日(火)～10月31日(木) (3日間、21時間)
募集人員	25名
受講料	23,000円(税込み)

月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)
10/29 (火)	9:20～9:30	開講式・オリエンテーション		
	9:30～12:30 (3.0H)	中小企業経営者の金融機関との付き合い方と目利き力 <理論政策>※	中小企業の経営者の立場から見た金融機関との交渉や、金融機関を選別する際のポイント等を学びます。	一般社団法人日本金融人材育成協会 会長 森 俊彦
	13:30～17:30 (4.0H)	企業経営における資金繰り支援の現状 <理論政策>※	企業経営における資金管理の重要性とコロナ禍における借入金増加、返済期限到来といった中小企業の資金面の課題や支援の現状について学びます。 ・中小企業の資金繰りの現状 ・コロナ禍以後の企業支援、資金繰り支援のポイント ・支援機関における資金繰り支援の事例	
	18:00～	交流会	受講者同士の懇親と情報交換	
10/30 (水)	9:00～12:30 (3.5H)	資金構造と資金の流れの理解	企業経営における資金の流れの仕組みを理解し、健全な資金の流れをつくるために必要な知識を習得します。 ・企業経営と資金構造 ・利益と資金(収益性とCF)の関係 ・資本効率と運転資金(回転期間)の関係 ・収支構造と収支分岐点分析 ・業種別の資金繰りの特徴や癖 ・資金繰りの理想と現実その要因	関パートナーズオフィス 代表 関 智英 壮警町商工会 経営指導員 中小企業診断士 松原 宣彦
	13:30～18:00 (4.5H)	事業継続のための資金繰り改善提案の実務	資金繰り表の理解、資金繰り表の作成、資金面の課題抽出、改善策の検討といった実践的に活用できる資金繰り支援の実務を演習を通じて学びます。 ・資金繰り支援、本業支援、金融支援の関係 ・資金繰りに関する様々な支援事例(業種業態による違いの理解) ・手詰まりを防ぐ資金繰りのポイント ・資金繰り表の作成法 ・資金繰り表の見方、改善指導への活用法 ・収益改善への提案	
10/31 (木)	9:00～12:30 (3.5H)			
	13:30～16:00 (2.5H)			
	16:00～16:20	終講式		

※カリキュラムは変更する場合があります。

(研修時間数 21.0H)

※中小企業診断士資格更新研修 理論1回